

夢中で拾つた石たち(北九州のKさん)



みんつど

第二十号

編集 天地 成行

たまにはこんな記念号

ついに二十号

腰の調子が悪いと一日寝てから、今度はおなかがおかしくなってきたわけです。そして日曜日の午後に母に手をつてもらつたら、すごい熱らしく「すぐに救急外来行くわよ」と言われて、その日は六時間病院におりました。詳しいことは中面で触れていますのでご覧ください。

オリンピックも始まりました。大リーグ・エンゼルスの大谷選手の活躍以外もすぐかかった前半でした。みんつど読者の方には少しほは、お忙しい日々の中で一服の清涼剤になつてほしいなと思つて毎号少しは気を配させていただいてます。それが今自分にできることなのでしょう。ではスタートです。

みなさま、みんつどのお時間です。ついに二十号！ パチパチパチ。よくやりました。ひとえに読者のみなさまのおかげです。よくおつきあいくださいますね(笑)。

さて、今回は、いつになく写真やイラストが手に入りづらい中で、天地が言いたいことを多めに入れました。お気に召さない場合はお伝え願います。今後の編集方針にも気を配りたいと考えます。天地は、六月末に初めて食中毒にかかりました。前々日にマッサージに行って、ぐぎつとしてもらい、

提供

村岡鍼灸治療院
阿東つばめ農園 俳句雑誌「山彦」レストハウスたんぽぽ
こころてれび ひだまりの会 株式会社くるとん

生きてるっていいものですね

天地編集長の記念「ラム 食中毒になつて思つ」

2021年6月20日。

この日は朝からトイレに何べんも通い、疲れ果てていた。体は重く、関節も痛い。床に横になつていても息苦しい。

夕方にトイレ帰りに母の部屋に寄る。母に「熱を測つてみたら?」と言われて、体温計をわきにはさんで取り出してみる。

四十・五度。

「ん? 何かの間違いか?」

もう一度測る。変わらない。

「日曜だけ病院行こう」

母は焦つて休日診療所に電話する。時間は十六時半を過ぎていた。総合病院の救急外来に行つてくださいとのことでタクシーで駆け込む。

すでに人は多く、一時間待ちの札が……。

一時間待つと、診断が始まつた。医師はコロナを警戒して、二メートル

離れた距離からいろいろ聞いてくる。しばらく話をしてから外で待つていてくださいと言われて、医師の複数の声が聞こえる。食中毒では? と聞こえた。まさか、毎日食べている卵かけごはんかと思った。そういう話もしたからだ。

それからが長かつた。計六時間この日は病院にいたのだが、便意がすごい。もよおすから水分補給もできない。

そして、CTスキャンに採血に点滴。

点滴では、頭上にあるブドウ糖入りの液体が袋から一滴ずつ落ちていくのを見ていたら首が痛くなる。一時間以上500ミリリットルの点滴を終る。また呼ばれ、もうやばい、便意が。何度も

聞いていても息苦しい。

夕方にトイレ帰りに母の部屋に寄る。母に「熱を測つてみたら?」と言われて、体温計をわきにはさんで取り出してみる。

四十・五度。

「ん? 何かの間違いか?」

もう一度測る。変わらない。

「日曜だけ病院行こう」

母は焦つて休日診療所に電話する。時間は十六時半を過ぎていた。総合病院の救急外来に行つてくださいとのことでタクシーで駆け込む。

すでに人は多く、一時間待ちの札が……。

一時間待つと、診断が始まつた。医師はコロナを警戒して、二メートル

も点滴台を動かして、一時的に血を逆流させながら、トイレへ駆け込む。

「おそらく食中毒でしょ。解熱剤と抗生素など

を出します」医師が言う。

その日はNHKの大河

ドラマが観られず残念だつたが仕方がない。

そして、その日から劇

的に改善傾向となる。そ

して何日かおきに病院へ

通うことになった。

病院は朝から人、人、

路は渋滞し、息切れしな

い。人の嵐。車いすで狭い通

路は渋滞し、息切れしな

い。もよおすから水分補

給もできない。

そして、CTスキャン

に採血に点滴。

点滴では、頭上にある

ブドウ糖入りの液体が袋

から一滴ずつ落ちていく

のを見ていたら首が痛く

なる。一時間以上500

ミリリットルの点滴を終

る。また呼ばれ、もう

やばい、便意が。何度も

聞いていても息苦しい。

夕方にトイレ帰りに母の部屋に寄る。母に「熱を測つてみたら?」と言われて、体温計をわきにはさんで取り出してみる。

四十・五度。

「ん? 何かの間違いか?」

もう一度測る。変わらない。

「日曜だけ病院行こう」

母は焦つて休日診療所に電話する。時間は十六時半を過ぎていた。総合病院の救急外来に行つてくださいとのことでタクシーで駆け込む。

すでに人は多く、一時間待ちの札が……。

一時間待つと、診断が始まつた。医師はコロナを警戒して、二メートル

も点滴台を動かして、一

時的に血を逆流させながら、トイレへ駆け込む。

「おそらく食中毒でしょ。解熱剤と抗生素など

を出します」医師が言う。

その日はNHKの大河

ドラマが観られず残念だつたが仕方がない。

そして、その日から劇

的に改善傾向となる。そ

して何日かおきに病院へ

通うことになった。

病院は朝から人、人、

路は渋滞し、息切れしな

い。もよおすから水分補

給もできない。

そして、CTスキャン

に採血に点滴。

点滴では、頭上にある

ブドウ糖入りの液体が袋

から一滴ずつ落ちていく

のを見ていたら首が痛く

なる。一時間以上500

ミリリットルの点滴を終

る。また呼ばれ、もう

やばい、便意が。何度も

聞いていても息苦しい。

夕方にトイレ帰りに母の部屋に寄る。母に「熱を測つてみたら?」と言われて、体温計をわきにはさんで取り出してみる。

四十・五度。

「ん? 何かの間違いか?」

もう一度測る。変わらない。

「日曜だけ病院行こう」

母は焦つて休日診療所に電話する。時間は十六時半を過ぎていた。総合病院の救急外来に行つてくださいとのことでタクシーで駆け込む。

すでに人は多く、一時間待ちの札が……。

一時間待つと、診断が始まつた。医師はコロナを警戒して、二メートル

も点滴台を動かして、一

時的に血を逆流させながら、トイレへ駆け込む。

「おそらく食中毒でしょ。解熱剤と抗生素など

を出します」医師が言う。

その日はNHKの大河

ドラマが観られず残念だつたが仕方がない。

そして、その日から劇

的に改善傾向となる。そ

して何日かおきに病院へ

通うことになった。

病院は朝から人、人、

路は渋滞し、息切れしな

い。もよおすから水分補

給もできない。

そして、CTスキャン

に採血に点滴。

点滴では、頭上にある

ブドウ糖入りの液体が袋

から一滴ずつ落ちていく

のを見ていたら首が痛く

なる。一時間以上500

ミリリットルの点滴を終

る。また呼ばれ、もう

やばい、便意が。何度も

聞いていても息苦しい。

夕方にトイレ帰りに母の部屋に寄る。母に「熱を測つてみたら?」と言われて、体温計をわきにはさんで取り出してみる。

四十・五度。

「ん? 何かの間違いか?」

もう一度測る。変わらない。

「日曜だけ病院行こう」

母は焦つて休日診療所に電話する。時間は十六時半を過ぎていた。総合病院の救急外来に行つてくださいとのことでタクシーで駆け込む。

すでに人は多く、一時間待ちの札が……。

一時間待つと、診断が始まつた。医師はコロナを警戒して、二メートル

も点滴台を動かして、一

時的に血を逆流させながら、トイレへ駆け込む。

「おそらく食中毒でしょ。解熱剤と抗生素など

を出します」医師が言う。

その日はNHKの大河

ドラマが観られず残念だつたが仕方がない。

そして、その日から劇

的に改善傾向となる。そ

して何日かおきに病院へ

通うことになった。

病院は朝から人、人、

路は渋滞し、息切れしな

い。もよおすから水分補

給もできない。

そして、CTスキャン

に採血に点滴。

点滴では、頭上にある

ブドウ糖入りの液体が袋

から一滴ずつ落ちていく

のを見ていたら首が痛く

なる。一時間以上500

ミリリットルの点滴を終

る。また呼ばれ、もう

やばい、便意が。何度も

聞いていても息苦しい。

夕方にトイレ帰りに母の部屋に寄る。母に「熱を測つてみたら?」と言われて、体温計をわきにはさんで取り出してみる。

四十・五度。

「ん? 何かの間違いか?」

もう一度測る。変わらない。

「日曜だけ病院行こう」

母は焦つて休日診療所に電話する。時間は十六時半を過ぎていた。総合病院の救急外来に行つてくださいとのことでタクシーで駆け込む。

すでに人は多く、一時間待ちの札が……。

一時間待つと、診断が始まつた。医師はコロナを警戒して、二メートル

も点滴台を動かして、一

時的に血を逆流させながら、トイレへ駆け込む。

「おそらく食中毒でしょ。解熱剤と抗生素など

を出します」医師が言う。

その日はNHKの大河

ドラマが観られず残念だつたが仕方がない。

そして、その日から劇

的に改善傾向となる。そ

して何日かおきに病院へ

通うことになった。

病院は朝から人、人、

路は渋滞し、息切れしな

い。もよおすから水分補

給もできない。

そして、CTスキャン

に採血に点滴。

点滴では、頭上にある

ブドウ糖入りの液体が袋

から一滴ずつ落ちていく

のを見ていたら首が痛く

なる。一時間以上500

ミリリットルの点滴を終

る。また呼ばれ、もう

やばい、便意が。何度も

聞いていても息苦しい。

夕方にトイレ帰りに母の部屋に寄る。母に「熱を測つてみたら?」と言われて、体温計をわきにはさんで取り出してみる。

四十・五度。

「ん? 何かの間違いか?」

もう一度測る。変わらない。

「日曜だけ病院行こう」

母は焦つて休日診療所に電話する。時間は十六時半を過ぎていた。総合病院の救急外来に行つてくださいとのことでタクシーで駆け込む。

すでに人は多く、一時間待ちの札が……。

一時間待つと、診断が始まつた。医師はコロナを警戒して、二メートル

も点滴台を動かして、一

時的に血を逆流させながら、トイレへ駆け込む。

「おそらく食中毒でしょ。解熱剤と抗生素など

を出します」医師が言う。

その日はNHKの大河

ドラマが観られず残念だつたが仕方がない。

そして、その日から劇

的に改善傾向となる。そ

して何日かおきに病院へ

通うことになった。

病院は朝から人、人、

路は渋滞し、息切れしな

い。もよおすから水分補

給もできない。

そして、CTスキャン

に採血に点滴。

点滴では、頭上にある

ブドウ糖入りの液体が袋

から一滴ずつ落ちていく

のを見ていたら首が痛く

なる。一時間以上500

ミリリットルの点滴を終

る。また呼ばれ、もう

やばい、便意が。何度も

聞いていても息苦しい。

夕方にトイレ帰りに母の部屋に寄る。母に「熱を測つてみたら?」と言われて、体温計をわきにはさんで取り出してみる。

四十・五度。

「ん? 何かの間違いか?」

もう一度測る。変わらない。

「日曜だけ病院行こう」

母は焦つて休日診療所に電話する。時間は十六時半を過ぎていた。総合病院の救急外来に行つてくださいとのことでタクシーで駆け込む。

すでに人は多く、一時間待ちの札が……。

一時間待つと、診断が始まつた。医師はコロナを警戒して、二メートル

も点滴台を動かして、一

時的に血を逆流させながら、トイレへ駆け込む。

「おそらく食中毒でしょ。解熱剤と抗生素など

を出します」医師が言う。

その日はNHKの大河

ドラマが観られず残念だつたが仕方がない。

そして、その日から劇

的に改善傾向となる。そ

して何日かおきに病院へ

通うことになった。

病院は朝から人、人、

路は渋滞し、息切れしな

い。もよおすから水分補

給もできない。

そして、CTスキャン

に採血に点滴。

点滴では、頭上にある

ブ



金光光雄さんのイラストコーナー

ころがあるから行くとい
うより、個人的なことを
オーダーメイドする福祉
は制度としてないと思い
ます」と言われて落ちこ
むわけです。

でも、去年よりはいい
のかも? 去年は、株式
会社くるとんの藤井康弘
さんにお世話になつた拙
著「わたしは山頭火! ?」
発行や、大橋広宣さんの
依頼でケーブルテレビ
「こころてれび」に出演、
安渓遊地さんによる「み

さて、宇宙の中でぶかぶか浮くように、人生の、社会の「将棋盤」の外にいる私はこれから先どうすればいいのか？二面で自分らしく楽しくと書いておしゃかりを受けそうですが、そこは精神疾患者。実はまるで一貫性がないわけです。どつちもある分裂的思考。そういう「なんやねん」ということもたまには書きますね。

と家にいて、寝て食つての生活になつてしまいま
す。会う人も少なく日々のスケジュールも真つ白、
もともと金もない所以外出したところで何をする
わけでもないので出ません。家には車もありませ
ん。コンビニやバス停まで歩いて数十分。運動も
せず、高齢の親に頼つて、ただただ太る日々……。
主治医に「(こういうと
ころがあるから行くとい

「毎日の居場所づくり」や「息抜きができることの不足」などが挙げられるでしょう。きっと、疾患者でなくとも、おおかれ少なかれ、自己実現については納得せず、特に勤めてらつしやる方は、「なんで自分だけこんな目にあわないといけないんだ!」と思つて日々生きづらさを抱えているのでしょうかね?多少は人の想像もつきま

さて、宇宙の中でぶかぶか浮くように、人生の、社会の「将棋盤」の外にいる私はこれから先どうすればいいのか？ 二面で自分らしく楽しくと書いておしゃりを受けそうでいるではないか！ とおしゃりを受けそうですが、そこは精神病患者。実はまるで一貫性がないわけです。どつちもある分裂的思考。そういう「なんやねん」ということもたまには書きますね。

天地の力、ノピロ、バクター的思考

「んつど」ネット公開……。
母に言わせると、「いじやないのよ」ということらしいです。でも本

天地成行著「わたしは山頭火！？」



くるとん藤井社長 今だから話せる話

出版から8ヶ月が過ぎ
ようとしています。おかげ
さまで、天地さんのお
知り合いの方々を中心に、
本をご購読いただいてい

ます。この場を借りて、
御礼申し上げます。

改めて今、天地さんと
の本づくりにおける色々
を思い出しています。

原井育子さんコ一ナ一⑧

最近ハマっている人が2人いる。
渋沢栄一と大谷翔平である。

渋沢栄一の事は、新一万円札の顔ということで、
恥ずかしながら初めて知ることになる。

今は大河ドラマ「青天を衝け」を観て勉強？ を
している。

渋沢栄一の好きな所は、手段がコロコロと変わる
所だ！ 手段をコロコロと変える事を日本人は、と
かく嫌う傾向にあるが、渋沢栄一はいつも簡単に変
える！？ というより、そのように世から導かれて
いるのかもしれない。

論語に「過（あやま）ちを改（あらた）めざる、

これを過（あやま）ちという」という言葉がある。
過ちを犯していながら改めないのが、ほんとうの過
ちである。過失はやむを得ないが、過ちと気づいた
らすぐ改めよ、という意味だ。

渋沢栄一は、この論語を地でいっているように思
う。実に痛快だ！！
もう一人は大谷翔平である。
彼には驚かされる。

ホームラン33本、投手として4勝（前半）。
だれも考えていなかつた事をいとも簡単にやりと
げり！？ ように見える。

また、味方チームにどどまらず、敵チームやいろ
んな人が大谷翔平を好きになる。まるでドラゴンボ
ールの孫悟空のようだ。

「チャラ、ヘツチャラ……」てね！
そしてゴミ拾いの事を彼は、人が捨てた運を拾つ
てているという。ウウーーおもしろい！

渋沢栄一にしても、大谷翔平にしても、まあ明
るい！ そして素直だ！
彼ら自身も、見ている私たちも楽しい！！
どんな世の中であれ、楽しんだものが勝つのかも
しない。

天地成行著「わたしは山頭火！？」
と触れ合った経験もなかつ
た私にとって、この本を
編集することには、大きな不安がありました。
しかし、漠然と心配し
ていても仕方ないので、
原稿の良し悪しだけを評
価し、出版の可否を判断
することにしました。

正直に言うと、ご病気
がご病気だけに結局は考
えがまとまらず、途中で
ます。この場を借りて、
御礼申し上げます。

改めて今、天地さんと
の本づくりにおける色々
を思い出しています。

これまでの闘病記とは違
う新しいものが生まれる
可能性にも期待していま
した。

蓋を開けてみると、一
読して「面白い」と思う
原稿をいただき、驚きま
した。深刻な話なのにク
スッと笑える。外からは
うかがい知れない患者の
内面が素直に描かれてい
る。ただその一方で、本
人が悩みながら書いたら
う元職場の人間関係等
のエピソードについては、
理解に苦しむ文章が多かつ
たように思います。

天地さんのなかにある
「もし読まれて、責められ
たら……」という恐怖
を一つずつ除きながら編
集は進みました。途中、編
集の頭が混乱し、気持ち
が落ち込むこともあり、
天地さんとの程よい距離
感を模索したこともあり
ました。

さて、記念すべき二十一
号はいかがでしたでしょ
うか？ 先日わたしは、
地元の相談支援事業所に
相談に行ってきました。
今後の自分の生き方をどう
うしようか、ふと悩むこ
とがあるからでした。会
社や施設への就労は難し
いかな？ というのが話
していく感じました。今
後とも発信力を通じて、
何らかのことをしていくく
方がベターのようです。
それが知れただけでも行
つてみてよかったです。

編集後記 相談支援

「わたしは山頭火！？」
は、株式会社くるとんの
ホームページや電話08
27（81）1551、
アマゾンでも絶賛好評販
売中です。（天地より）
◇

れています。結果的に少
しでも社会の役に立つ本
を世に出せたことについ
て、満足と感謝の気持ち
でいっぱいです。（株式
会社くるとん・藤井康弘）